

## (公社) 青森県診療放射線技師会理事会等議事録

委員会等名： 令和5年度第5回理事会	
開催通知：令和5年 11月 30日 (木)	
開催日時：令和5年 12月 11日 (月) 20:00 ~ 22:10	
場 所：ZOOM	
議 長：佐藤兼也	議長が指名した議事録作成人：澤橋政美
(出席者) 理事：12人(定数15) 監事：2名(定数2) 常務理事：佐藤兼也、小澤友昭、成田将崇、森脇公洋、石倉牧人、大湯和彦、横山幸夫 理 事：岩瀧昌善、三浦隆司、澤橋政美、内田幸範、米田竜二 監 事：稲葉孝典、福士正広	
(議事要旨)	
【議事録確認】 令和5年度第4回理事会(佐藤会長) 令和5年度第4回理事会議事録が確認され、特に意見はなかった。	
【報告1】 会長・副会長・常務理事業務執行報告(森脇常務理事) 令和5年9月20日から令和5年12月10日までの報告があった。	
【報告2】 令和5年度中間監査(佐藤会長・森脇常務理事・横山常務理事) 11月19日 10:30~12:30に佐藤会長、監事2名を含め9名で監査を受けた。 イベントの報告書及び会計報告書をイベント毎に速やかに提出し、整理しておくこと。入退会に関する書類の整理について遺漏のないよう管理することが指摘された。入退会の書類に関してはもう少し見やすく整理していく。	
【報告3】 第7回告示研修会(小澤副会長・成田副会長) 令和5年10月21日に弘前大学医学部保健学科で31名(定員32名)出席にて行われた。 今回は動脈路に関する時間を変更したが、次回も今回同様のプログラムが良いかもしれない。 次年度は八戸開催予定である。	
【報告4】 令和5年度県原子力防災訓練(佐藤会長・米田理事) 令和5年10月19日にウェディングプラザ アラスカで調整会議として佐藤会長及び森脇常務理事が出席した。 令和5年11月7日にむつ市ウェルネスパークで実働訓練が行われた。平内中央病院からの出席は急遽できなくなり、米田理事1名が出席した。サーベイメータの準備(6台)が大変だったが、訓練自体は予定通り終了した。今回の訓練ではLET通信によるアプリを試験運用した。	
【報告5】 ピンクリボンキャンペーン(横山常務理事) 400名を超える参加者で大盛況であった。 会計は予算通りであった。 ポスターは早めに頂ければホームページに掲載することが出来た。	
【報告6】 県受託講習会(成田副会長) 令和5年11月25日に弘前大学医学部附属病院でハイブリット開催した。 現地21名、Web17名が参加された。 開催時期について、昨年度は2月に実施したが、交通の便や会計処理を考慮するとこの時期に出来たこと及び実技が出来て良かった マンモのライングループを作成したようだ。	
【報告7】 令和5年度青森県診療放射線技師学術大会(小澤副会長) 令和5年11月26日に弘前大学医学部保健学科でハイブリット開催した。 現地50名、Web46名参加された。 会場のスピーカ(ハウリング)の問題があった。	

今後はメール配信を考慮したい。  
予算が大きくオーバーしてしまった。

**【報告7の2】第10回青森県CT研究会（小澤副会長）**

令和5年12月2日にホテル青森にてハイブリット開催した。  
現地33名、Web226名参加され、県内75名、県外184名と県外参加が多かった。

**【報告8】第28回県民公開講座「骨髄移植を知ろう」後援依頼及び「国民医療を守る青森県民協議会」決議承諾（森協常務理事）**

第28回県民公開講座「骨髄移植を知ろう」後援名義の使用について承諾した。  
令和5年度国民医療を守る青森県民協議会決議（案）並びに役員（案）について承諾した。

**【報告9】JART・東北技師会関係（佐藤会長）**

令和5年11月2日に山形テルサで第3回東北放射線医療技術学術大会（TCRT）役員会が行われた。

第13回東北放射線医療技術学術大会運営報告

参加登録をJJRSで行ったが混乱があったようだ。

共催企業より展示以外でプレゼンテーションさせて欲しいとの依頼に、協賛金の上乗せ（25,000円）で受けた。

第14回東北放射線医療技術学術大会

令和6年10月5、6日に予定され、演題募集を4月中旬より始める。

企画数は14企画以内で調整する。

配信にかかる費用が200万円ほど必要である。

第15回東北放射線医療技術学術大会

役員改選をあるため仮の大会長、実行委員長であることを伝えた。

開催場所についても青森市でと仮の案内をした。

協議事項

監事より予算と決算のバランスを適正にするよう指摘された。

TCRTの企画委員

各県から2名担当者を選出することとなり、三浦会員（青森県立中央病院）、田口会員（八戸市民病院）を選出した。

**【報告10】JART永年勤続表彰（澤橋理事）**

該当者8名に対し、3名を推薦した。4名は辞退、1名は保留であった。

保留者に対し確認したところ、経験年数が満たしていない可能性があるとのことだった。

**【報告11】総務関係**

・ドキュワークスの契約（横山常務理事）

ドキュワークスについて再リースではなくリース終了とする。

そのまま継続使用は可能である。

・会員の動向（森協常務理事）

現在、退会2名で県技師会366名、日放技343名（新入会承認後）となった。

退会者2名に対し通知を出す予定である。

**【検討1】【報告7の2】へ移行**

**【検討2】第30回青森CT・MRI診断技術研究会（成田副会長）**

令和6年1月20日から3月2日予定となった。

特別講演はCTの技術系に変更となる。

**【検討3】令和7年度TCRT（佐藤会長・小澤副会長）**

開催日は令和7年11月22、23日、場所はリンクステーションホール青森で前日より仮予

約している。情報交換会はホテル青森を想定している。  
組織図、実行委員について検討中である。  
コンベンション助成金を申請予定である。

**【検討4】「公益法人10年の検証について」の提言（佐藤会長）**

**提言1：公益社団法人への移行**

業務分担について、分類作業して割り振りしてみる。  
公益インフォメーションについて、常務理事以上に確認してもらう。

**提言2：役員に対する報酬等の支給の基準の経緯と問題**

会議について、予算の範囲内で対面、Webをダブルスタンダードで回数を検討する。

**提言3：旅費の再確認**

認識を合わせ、本会規定通り運営していく。

**提言4：総会資料の事業計画と予算の裏付け**

予算あつての事業であることを認識する。

**提言5：公益社団法人と一般社団法人**

業務偏りがないう役員が技師会業務に慣れるようにし、責任感を持つ。  
持ち回り制について、専門性もあり難しい印象である。  
職場の理解が必要であるが、公平感を持ち、提言を真摯に受け止めなければならない。

**提言6：世代の推移に本会運営の変化が必要（ルール・マニュアル化）**

理事の後進育成のためにマニュアル化する。  
様々なワークスタイルでも運用していけるようにするのが良く、ITを使った業務連携等を促進する。  
規程や過去の資料を必ず一読し、認識を向上する。  
会員に対する資料のダウンロード等情報発信のあり方を変えていければ良い。

公益社団法人を存続していくことを確認した。

**【検討5】今後の日程（森脇常務理事）**

期末監査から令和6年度定時総会・登記までの日程が示された。  
選挙管理委員会に連絡する。  
令和6年3月9日（理事会）、4月21日（期末監査）、6月16日（総会）青森市民病院会場をおさえる。

**【議案1】新入会員の承認（森脇常務理事）**

4名の新入会が承認された。  
ワーキングフォルダに会員名簿を登録する。

**【その他】**

- ・ 学術大会の参加証について  
Web参加について、参加要件をイベント毎に明記することとする。
- ・ ホームページ  
入会案内を作成した。  
フェイスブックは情報発信としてチラシを掲載している。

以上

本書は議事録に相違ない。

令和 5 年 12 月 15 日  
青森市安方二丁目 17 番 15-802 号  
ライオンズマンション新町通  
公益社団法人 青森県診療放射線技師会

会長 佐藤 兼也

監事 稲葉 孝典

監事 福士 正広